

2024年5月20日作成

第1.0版

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたくないとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

増加する救急搬送において診療まで時間を要する救急患者に対する
適正な緊急度・重症度判定基準策定の試み

1. 対象となる患者さん

2015年10月1日から2023年12月31日の間に当院ERに搬送された患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 救急科 福島 英賢

3. 研究の目的と意義

救急搬送例の増加に伴い、医療機関搬送までに時間を要する、あるいは医療機関搬送後も待機しなければという問題が発生しています。これらやむなく待機となる患者さんの中には待機中に状態が悪化してしまう患者さんもおられます。このように待機することとなった救急患者さんに対しては、災害の時のように、適切な緊急度や重症度の評価を行い、トリアージを行う必要があります。本研究では病院照会2回以上で奈良県立医科大学ERに搬送された患者さんを対象として、このような待機する救急患者さんに対して、新たな緊急度・重症度判定の作成を試みます。

4. 研究の方法

5. に示す情報を対象の患者さんの救急搬送データ、および当院カルテから収集し、状態の悪化に繋がる要因を探索し、新たな緊急度・重症度判定を提言します。

5. 使用する情報

救急搬送データ：奈良県で救急隊が用いている奈良県救急医療管制支援システム：e-MATCH データ

当院の電子カルテ情報：搬送日時、年齢、性別、既往歴、搬送時バイタルサイン（意識、血圧、脈拍数、呼吸数、酸素飽和度、体温）、血液検査結果、CT 画像、診断名、入院期間、転帰

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2025 年 6 月 30 日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

9. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 救急科 福島 英賢

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：emer@naramed-u.ac.jp